



# 入局1. 2年目職



## ●財務局の魅力は？

- 菊谷**：財務局では、財政、金融等様々な業務がありますが、どの分野も専門性が高く、やりがいをもって働くことができます。慣れるまでは大変ですが、上司があたたかく見守ってくれるので、安心して業務に取り組めます。
- 坪山**：地域に密着した活動を行う点も、大きな魅力です。地域の現状やニーズを捉え、地方創生のために地域と国家行政をつなぐ役割を果たすのは、財務省の出先機関たる財務局ならではの考えです。
- 後藤**：財務局では財務局の仕事だけではなく、金融庁の仕事にも携われ、幅広い視野をもって働くことができます。また、職場の雰囲気も良く気軽に相談できることも魅力だと思います。

## ●財務専門官試験対策を教えてください！

- 奥寺**：基本となる科目をしっかりと固めることが大切です。教養科目ならば数的処理、専門科目ならば憲法・民法・経済学です。これらの科目は安定して点数がとれるようになるまである程度時間がかかるため、早めに取り掛かりたいです。
- 菅野**：就活は長距離マラソンです。走り方は人それぞれで、序盤に飛ばす人もいれば一定のペースで走る人もいます。ひとつ大事なことは、まず、走り切ることです。勉強が足りないかも、なんて心配よりも途中で投げ出さないように自分に気を遣うことから始めるといいと思います。
- 虎谷**：専門記述試験の対策を十分にすることが大切です。択一試験と違い、知識を整理できていないと全く書けないので、テーマごとに情報をノートにまとめ、あとは何度も答案を書く練習をするのがいいと思います。
- 森**：財務専門官試験には択一試験の他、専門記述試験があります。なので、択一式の問題を解くときから、記述試験だったらどう出るかを考えながら解くように心がけると、問題に対する理解がより深まると思います。

## ●職場の雰囲気はどうですか？

- 古野**：職場の雰囲気は、とてもアットホームだと思います。新規採用職員として、初めて職場に行った際には緊張もしていましたが、すぐに打ち解けることができました。上司・先輩も親身に相談に乗ってくれます。
- 森**：上司との距離が近いので、困ったことはすぐに相談することが出来ます。私自身、入った当初は慣れないことや戸惑うことばかりでしたが、上司や先輩に相談しながら、安心して仕事に取り組むことが出来ました。
- 服部**：非常に風通しの良い職場だと思います。優しく的確に指導して下さる上司や先輩ばかりで、仕事に取り組みやすい環境です。まだ初めてのことやわからないことが多くありますが、日々助けられています。

# 員にインタビュー



## ●勤務地での生活は？

**真壁**：旭川はこれまで訪れたことのない土地なので、新鮮な気持ちで日々を過ごしています。職場の先輩と食事に行かせていただくことも多く、初めての土地ではありますが満喫しております。

**片木**：一人暮らしの経験はありますが、北海道で生活するのが初めてなので新鮮なことばかりです。特に毎日涼しくて驚いています。休日には地域のイベントなどもあるので、時々出かけて行って満喫しています。

**坪山**：“観光の街”函館に住んでいるので、週末に歴史ある街並みや観光地を訪れています。今後は、管内のイベントや青森など、函館に住んでいるから行きやすい場所にも行きたいです。

## ●休日の過ごし方は？

**舟越**：休日は、仕事中に気になった物件を見に行くという建前のもと、小樽出張所の管内をドライブします。土地勘も覚えつつ、ぼーっとのどかな景色を眺めながら運転して、ストレス解消もでき一石二鳥です。

**後藤**：休日は、赴任先で知り合った友人とドライブしてご飯を食べに行ったりしています。また、知人宅でバーベキューを行ったり、釣りをすることもあります。

**菅野**：休日は、自家用車でオホーツクの観光巡りをしています。経済調査の業務に携わっていると、多方面から情報が集まり地域の魅力に気づかされます。この時期(9月)は網走のヒマワリが満開を迎え、一面の黄色に圧倒されます。慣れない地での赴任となりましたが、このような楽しみもあるので充実しております。

## ●仕事をするうえで心掛けていることは？

**小島**：手持ちの業務とその期日を全て付せん紙に書き出し、見えるところに貼るようにしています。物事の優先順位を意識して業務に当たれるので、その日すべきことが明確になり、仕事にメリハリがつかます。

**虎谷**：職員の方々と積極的にコミュニケーションをとりながら仕事をしています。今自分がどのような仕事をしているか等の情報を先輩と共有することで、アドバイスももらいやすく効率的に楽しく仕事をする事ができています。

**服部**：仕事が始まる前にやるべきことを整理し、大体の1日のスケジュールを思い描いてから仕事に取り組んでいます。時には上司に相談しながら優先順位をつけ、見落としのないよう心掛けています。